

2022. 10. 10

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

- 植物モニタリング活動 10/17、11/7、11/14 9:00 ため池公園スタート
- 赤塚公園ニリンソウを守る会 (どんぐりまつりが予定通り実施された場合) 10月第2回例会=10/30 10:00 大門観察台
★いずれも、飛び入り参加歓迎! 雨天は小雨でも中止
- 赤塚公園どんぐりまつり 10/23 10:00~15:00 中央地区サービスセンター前
<問合せ: 赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>



日替わりで季節が変わる最近 赤塚公園の植物は忙しい!



連続してやってきた台風の後は一気に気温が下がって12月の気候。外出時の服装に迷う時期になってきました。

赤塚公園でも植物は迷っているのか、花はとっくに枯れて葉が展開してきたのにヒガンバナが「遅れ咲き」。ミズヒキは花が終わって実になっているのにまだ咲いているかのようなきれいな赤。その手前の黄色の花はノササゲ。いずれも鮮やかな色で楽しませてくれます。



もともと真夏の8月に咲いて

いた**ダイコンソウ**（上の左）はまだ花を付けつつ実もつけています。**イヌタデ**（上中）があちこちで群落をつくっているかと思うと、遅れて開花する**ハナタデ**（上右）も追いかけるように咲いてきました。場所によっては揃い咲きが見られます。

木々の実も目立つようになってきました。下の左は**ガマズミ**、右は**クサギ**。そのほか、マユミ、ノブドウの実も大きくなっていますが、まだ色付いてはいません。



春に咲く花 早くも展葉 春への準備



ふつうの感覚でいくと春に咲

く野草は春の季節になって葉を伸ばすと考えてしまいがちですが、よくよく考えれば春の前に開花の準備をしておかないと春に咲くことはできません。当たり前のこと。そこで、いつ準備するのかと言えば、生き物が動きを止める真冬の時期ではなくて、その前の秋が適当です。これもよ〜くよ〜く考えれば当たり前のことであり、今の時期に来年春に開花する植物が動き始めるのは理にかなったことなのでした。

上の写真左から、**ムラサキケマン**、**セントウソウ**。2段目のごわごわの葉は**ハルジオン**。花のイメージとは大違いです。

いちばん下は**ヤブタバコ**。この植物は越年草、つまり年を越して生きる1年草。だから、今踏みつぶしてしまうともう咲かないというデリケートな植物なのです。

林の中は「歩き方注意！」地帯です。

